

SKYMENU 活用授業 実践レポート

お名前	油谷 ほのか	学校名	大阪市立北粉浜小学校
実施学年	第2学年	教科	学級活動
単元名	自己紹介をしよう		

《学びを深めたいポイント》

- ・文字の入力方法や写真の挿入の仕方などの基本操作を身につけられるようにする。
- ・他者意識を持ち、人が見た時に見やすく分かりやすい資料になるよう工夫できるようにする。

《SKYMENU 活用のポイント》

- ・写真の挿入や文字の色や大きさ、レイアウトなどを工夫することで誰が見ても見やすく分かりやすい資料をつくるようにする。

《実践内容》

	学習活動	SKYMENU 活用場面	活用のポイント
導 入	<ul style="list-style-type: none"> ・基本操作（文字の入力や写真の挿入の仕方など）の確認をする。 ・誰もが見やすく分かりやすい資料を作るために必要なことを確認する。 ・最低限のルール（モラル等）を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・モニターでの説明とともに児童も自分の端末で体験する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童自身が自ら体験することで基本操作を早期的に身につけたり主体的に学んだりできるようにする。
展 開	<ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介を作成する。 ・作成した資料をつかってグループで発表をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自身の端末で自己紹介を作成する。 ・SKYMENU のグループ機能を活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・常に他者意識を持って、見やすく分かりやすい資料ができるように促す。 ・発表を聞きながら参考になったところや興味を持ったところにスタンプをおす。

	<p>・全体で発表をする。</p>	<p>・SKYMENU の共有画面をモニターにうつす。</p>	<p>・資料を共有画面にうつすことで全員が前を見て発表を聞くことができるようにする。</p>
まとめ	<p>・誰もが見やすく分かりやすい資料を作るために必要なことについて再確認し、自分の作成した資料はどうだったかを振り返る。</p> <p>・紙に書く場合と SKYMENU を活用する場合を比較し、それぞれの利点や違いについて確認する。 ※全体発表で発表ができなかった児童については、朝の時間等を活用し全員が発表できるようにする。</p>		

《実践を振り返って》

The screenshot displays a digital workspace with several content blocks:

- A yellow block with the text "好きな食べものは" (My favorite food is) and a small image of fruits.
- A red block with the text "好きなどうぶつは" (My favorite animal is) and a photo of elephants. A speech bubble below it says "アフリカにすんでいるよ" (I live in Africa).
- A purple block with the text "好きなキャラクター" (My favorite character) and a photo of a character.
- A light blue block with the text "ちいかわ" (Chiikawa).
- A light blue block with the text "ならいごと" (Dance).
- A large handwritten text "ダンス" (Dance) in black.

Below the screenshot, the following text is written:

・SKYMENU を活用することで、基本的な操作を簡単に行うことができ、子どもたちが主体的に活動に参加することができた。また、グループ機能や共有の機能を活用することでお互いにコメントを書きあったり、友だちの資料から新しいことを学んだりできるようにすることができた。